

## 松島町教育委員議事録（7月定例会）

- 1 招 集 月 日 平成30年7月27日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）  
赤間里香委員、佐藤実委員  
欠 席 者 鈴木康夫委員
- 4 説 明 の た め 出 席 し た 者  
赤間隆之教育課長、大宮司綾学校教育班長、石川祐吾生涯学習班長、  
佐藤淳中央公民館長兼文化観光交流館長兼勤労青少年ホーム所長、赤間香澄学校給食センター所長、  
佐藤弘也学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 平成30年7月27日（金曜日）午前9時57分 開会（録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 赤間委員・佐藤委員
  4. 報告事項
    - (1) 松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
    - (2) 一般事務報告
    - (3) 教育長報告
  5. 議事  
議案第1号 補正予算に係る主要事業について
  6. 協議
    - (1) 平成30年8月定例会について  
日程案：平成30年8月31日（金）午前10時00分 松島町役場3階 302会議室
  7. その他
    - (1) 松島第二幼稚園視察について  
日程案：平成30年8月31日（金）午前8時45分 松島町役場集合
    - (2) 総合教育会議について  
日程：平成30年8月6日（月） 松島町役場2階 201会議室  
議題：松島町における英語教育の取組みについて
    - (3) 松島発トーマス・エジソン祭りについて  
日程：平成30年7月28日（土）午前10時 アトレ・るHall（松島町文化観光交流館）
    - (4) 松島町教育講演会について  
日程：平成30年8月21日（火）午後1時30分 アトレ・るHall（松島町文化観光交流館）  
演題：「道徳科の特質を生かした授業改善と評価」  
講師：帝京大学教職大学院教授 赤堀 博行 氏
  8. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時57分

〔佐藤主査〕 みなさん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

これから、松島町教育委員会平成30年7月定例会を開会します。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕 みなさん、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

暑い日が続いて、何かへばりそうで、皮1枚脱ぎたいなと思ったんですが、昨日辺り窓を開けて寝たらこれまた寒いなのって、暑かったり寒かったり何か体調がすぐれなくなっていくのかなと思っております。

とはいえ、子供たち、1学期大きな事故もなく夏休みに入りました。夏休み、それぞれの地区でいろいろな行事をしているのかな、あるいは学校のプールに来ているのかなと思っている次第でございます。

中学校においては、それぞれ郡で勝ったチームが県大会に行つて、暑い中戦いました。結果は菅原優輝くんつていう中学校の柔道の子が準優勝で東北大会、秋田のほうに行けるということになりました。一人だけですけども良かったなと思っております。

今年はあまり暑いので、野球においては4イニングしたら水を飲む、給水するというもうレア中のレア、それからサッカーにおいては30分ハーフなので途中で試合を止めるということのも本当はあり得ないんですけども、15分経ったら給水すると。それから、バドミントンにおいては8点になったら、どちらかが8点取ったら給水するという、もう非常に熱中症を考慮した大会運営だったのではないかと考えております。そういう意味で、私たちの松島もその熱中症について少し考えていかなきゃならないと。

マスコミとかでご存じだと思いますけれども、下増田小学校、あの校長さんとは私一緒に勤めたことがあるんですが、名取市の市制60周年記念のために飛行機による空撮、空からの撮影をするために、ちょうど暑い時間、9時ごろ子供たちを出したということで、38名ほど熱中症になったというお話を聞いております。1人、2人だと意外と熱中症にならないんだそうで、集団になってくると、何か聞くところによると、みんなでやるから我慢しましょうねみたいな形になってばたばた倒れるということがあるということも有識者の話で聞きましたので、そういうことも各小中学校に伝えながら、2学期また元気にやっていきたいと思っております。

どうぞよろしくをお願いします。

簡単ですが、冒頭の挨拶といたします。

〔佐藤主査〕 ありがとうございます。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔佐藤主査〕 続きまして、2番前回委員会の議事録の承認について。

前回、6月定例会の議事録署名委員は瀬野尾教育長職務代理者と鈴木委員でした。また、7月12日の臨時会の議事録署名委員は内海教育長と瀬野尾教育長職務代理者です。議事録の承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）ありがとうございます。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔佐藤主査〕 続きまして、3番議事録署名委員の指名について。

今回は赤間委員と佐藤委員にお願いします。よろしくをお願いします。

### 4. 報告事項

(1) 松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

〔佐藤主査〕 続きまして、4番の報告事項に移ります。

(1) 松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について、学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕 学校教育班より説明、松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正についてということで説明をさせていただきます。

改正した告示は3ページのとおりさせていただきましたが、説明については、ページをめくっていただきまして、4ページのほうで新旧対照表をつけておりますので、そちらに合わせて説明をさせていただきます。

この私立幼稚園就園奨励費補助金というものは、国の幼児教育の無償化に向けた段階的取り組みとして行われているもので、国の補助基準に合わせて町の補助要綱も改正いたしました。

これ、1点訂正がございます。新旧の表に利用者負担額、月額とございますが、これは年額の誤りです。申し

わけございません。まず訂正をよろしくお願いいたします。

今回は、国のほうでは区分、階層区分のうちの3、町民税所得割額課税額が7万7,100円以下の世帯のところの保護者負担を軽減するために改正が行われたものでございます。一番上の生活保護世帯のところの30万8,000円というのがございますが、この30万8,000円というのは、国が幼児教育にかかる授業料並びにこども園の保育園の全国平均単価が30万8,000円ということで捉えられています。なので、月額でいうと2万5,000円ちょっとぐらい、幼児教育には授業料、保育料、私立幼稚園の場合かかるというふうに国が見込んでおりまして、一番上の生活保護世帯はその全額において公費で見ますというような仕組みで、所得に応じてその負担割合が変わるということになります。

今回改正された第3区分のところ、所得割額、課税額が7万7,100円というのと、年収でいうと大体360万円未満ぐらいの世帯収入のお家だと考えていただいていると思います。そのうちの第1子について、13万9,200円だったところを4万8,000円補助増額しまして、18万7,200円の年額公費負担なので、30万8,000円かかるところを公費が18万7,200円負担しますので、残りを保護者からいただくと。そうすると、第1子あたり月額にすると1万円ちょっとぐらいの負担で私立幼稚園の授業料が軽減されるという仕組みになります。第2子になると22万3,000円だったところが24万7,000円になりまして、2万4,000円の増額。こちらは月額にすると5,083円、第2子目ですね、になります。

この補助したお金は、町を経由して私立幼稚園に通う、幼稚園のほうに町から支給されるような仕組みになっております。支払ったお金の3分の1が国からその後に町のほうに歳入として入る仕組みになっていまして、公費の部分の3分の1は国、残りは町、そして保護者負担というような仕組みになっています。

以上、この第3区分のところの負担軽減ということで、今回国の改正に合わせて改正させていただきましたので、ご報告いたします。

以上です。

〔佐藤主査〕 それでは、ただ今の要綱の一部改正についてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

ちょっとよろしいですか。

幼稚園に入っている世帯といった方がいいのか、世帯のこの1から4までの区分というのの割合みたいなのは大体わかりますか。どのぐらいなのでしょう。

大宮司班長

29年度だと対象児童が5人だったというところはすぐ出るんですけども、ちょっとこの段階別を今手元に……（「全部で5人」の声あり）はい。松島町内で、町内の幼稚園に通っていてこの制度を利用しているのが5人です。それぞれいろいろな幼稚園に行かれるので、その5人の通っている幼稚園に対して町のほうで支出をしていきます。

佐藤委員

わかりました。

〔佐藤主査〕 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

## (2) 一般事務報告について

〔佐藤主査〕 それでは、続きまして(2)一般事務報告に移ります。

学校教育班からお願いします。

〔大宮司班長〕 はい、一般事務報告、行事報告、学校教育班からさせていただきます。

6月30日から7月27日まででございます。

主なものを報告させていただきます。

7月6日と12日に記載がございますスポーツ笑顔の教室、こちらはサッカーくじt o t oを活用した事業で、アスリートが、小学校だと5、6年生対象、中学校だと2年生対象に、夢先生というアスリートが学校に出向いて、子供たちにスポーツを通していろいろな学び、例えばつらい時のメンタルの克服の仕方とか、成功の裏には努力があるとか、そういうことをスポーツを通して子供たちに伝えるという事業で、無償で被災地のほうに出向いてくださるといふ事業を活用しまして、学校のほうに派遣していただきました。6月25日には第一小学校の5年生に、サッカーの工藤選手という方に行っていただいたので、6月25日、7月6日、7月12日と町内の小学校全部で夢先生による、アスリートによる指導が行われたところです。前半ではスポーツを通して体を動かしたりしながら少し気持ちをほぐして、その後に夢先生のアスリートからの成功体験や裏のつらかったお話などを聞きながら自分の振り返りをするという授業を各小学校でさせていただいたところでございます。

併せて12日、13日と東北六県市町村教育委員会連合会の教育委員、教育長研修会、山形県山形市まで委員の皆様、教育長先生に行っていただきました。大変お疲れさまでございました。

20日でございます。無事町内各幼稚園、小中学校、終業式終わり、夏休みとなりました。

ページをめくっていただきまして、6ページ、行事予定のほうに移らせていただきます。

7月28日から30年8月31日まででございます。

明日、7月28日、昨年から始まりました第2回松島発トーマス・エジソンまつり、文化観光交流館で行われます。同日開催でアトレ・るまつりと産業観光課まつりの市など、いろいろなイベントを複合的に開催して、たくさんの方にお越しいただこうということで取り組んでおります。こちらにつきましてはその他の部分で詳細のほうお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

8月6日、第1回総合教育会議が役場のほうで開催される予定となっております。よろしくお願いいたします。

8月15日、こちら松島流灯会海の盆、松島町の夏まつりをこちらに掲載させていただきましたが、学校とのかかわりという点では、メインの会場の瑞巖寺参道を絵灯籠で、みんなの灯籠ということで演出を毎年しておりますが、そちらの絵灯籠を描いているのが町内の5年生、6年生の子供たちです。地域のお祭りに自分たちもかかわろうということで、開催の初年度から子供たちに書いていただいております。今年も子供たちの絵が夜の松島の瑞巖寺参道を飾りますので、機会がございましたら是非ご覧いただければと思います。

8月21日です。こちら、松島町教育講演会を開催いたします。こちら、道徳に係る教育講演会を開催させていただき予定となっております。こちらもその他のほうで説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

25日土曜日でございます。NHK仙台放送局「俳句王国がゆく」の公開収録というふうに書かせていただいておりますが、こちらも主管課は産業観光課となりますが、学校とのかかわりということで、こちらの番組の1コーナーで小学生に俳句を詠んでいただくというコーナーを企画していただいたことにより、松島第一小学校の子供たちがそのミニコーナーで俳句を詠んで学校紹介をするという場面が収録となりました。公開収録は25日の土曜日にアトレ・るHa11のほうでやらせていただく予定となっております。子供たちもそれに招待されるということでございます。「プレバト!!」という番組の夏井先生がこちらにいらして収録をするということですので、よろしくお願いいたします。

28日の学び支援定例会議なんですけれども、こちら日付が翌日の29日の開催で予定しておりましたので、こちらの誤りを訂正お願いいたします。

同日29日は中学校の駅伝大会がひとめぼれスタジアムで開催される予定です。駅伝大会、すみません、宮城郡の中学校駅伝大会で、場所が加瀬沼公園だそうです。

以上、予定をお伝えいたしました。

[佐藤主査] それでは、学校教育班の報告について、ご質問等ございますでしょうか

(質疑)

佐藤委員

7月の行事報告の中にありましたスポーツ笑顔の教室というのは、時間でいうと2時間ぐらい…

大宮司班長

そうです。前半35分間が体を動かす時間で、後半の55分がトークの時間で、全部で90分構成となっているようです。

体育館で夢先生と子供たちが最初体を動かして、そこで、知らない先生が来るのでちょっと構えるんでしょうけれども、ゲームを通してちゃんとアイスブレイキングというか、慣れてから導入をして、残りトークの時間ということで、後半55分は教室に移動して、自分の生い立ちから今までの子供時代からの過ごし方とか、アスリートになってどうだったかという気持ちの変化とかを子供たちに伝えていくと。

その後に子供たちが自分の生活と、その振り返りのシートを書きながら、自分の夢とやりたいこと、やりたいことのために頑張らなければいけないことみたいなことを振り返りするというような構成になっているようです。

瀬野尾委員

その二小で、実施日にちょうど私学校へまいりましたので、体育館での活動は声しか聞かなくなりましたが、教室ではきちんと授業を受けていまして、先生にあの子たちもちゃんと前を向いてしっかり授業を受けていましたねって言ったら、やはりちくっと耳が痛かったんですが、面白い授業だとちゃんと受けるんですねって言われまして、はい気をつけますと言って帰ってまいりましたが、子供たちはとても集中して聞いていました。

佐藤委員

今の関連して、私質問したのは、別な学校で新体操の先生のこの教室を見させていただいたんです。それ、私は1時間目を見たんですが、実に、初めてなんだけれども、子供たちをひきつけるようなゲーム遊びといたしますか、それってやはり担任の先生方が、ああいう一番最初に学級づ

くりみたいなのにごく手法というのは、宮城県でもMAPというのをやっているんだけど、あれはすごく素晴らしいと思ったものですから、先生方、ああいうのをぜひ学級づくりに活用していただくといいのではないかというふうに思ったんです。この2時間目の教室での授業というのは私は見なかったんですけど。

瀬野尾委員

この行事はすばらしい活動だっていうふうに私は思いました。感想でしたけれども、おっしゃるとおりです。

先生方もそうおっしゃっていました。引き付ける力がすばらしいってようにお話しされていました。

〔佐藤主査〕他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

〔佐藤主査〕それでは、続きまして学校給食センター、お願いします。

〔赤間所長〕7月2日、9日、10日と第五小学校において前期最後の食育指導を実施しました。さきに予定しておりました幼稚園の収穫体験ですが、連日のこの猛暑であり、炎天下の中での園児に関する影響を考慮しまして、こちらの作付につきましては、秋口になって収穫するだけのものに内容を変更させていただいております。

7月25日ですけれども、調理受託業者主催で炊き出し訓練を実施しました。午前中の2時間かけて約205個のおにぎりを作成しまして、そのうちの150個を松島中学校のほうにお昼に間に合うように届けるというテーマで実施しました。いろいろ問題点もあったんですけど何とか作れましたので、今後の災害時に備えた対応としてまたいろいろと計画していきたいと思っております。

7月28日から8月31日までの行事は特にありません。

8ページから9ページですけれども、夏休みとなりましたので、給食日より夏休み号を発行しました。1年で一番長い休みでございますので、夏の過ごし方について、食育の観点から食生活について周知しています。なお、休み明けにつきましても臨時の増刊号として1枚ものの給食センターからのお便りを発行したいと考えております。

8月、9月の予定献立表は2学期の始業式に発行する予定となっております。

本日、追加資料としまして、7月9日から13日まで、こちらの内容で給食アンケート調査を実施いたしました。今回は児童生徒及び保護者、それから教職員を対象として、全数調査ではなくて抽出調査というお話で、約600人を対象として実施しております。内容につきましては、詳細については次回定例会までにまとめまして報告させていただきたいと思っております。

以上でございます。

〔佐藤主査〕それでは、学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

（質疑）

赤間委員

7月2日なんですけれども、赤間センター長にお願いをしまして、五小の食育の指導を見てきました。その前に中学校をやられていたということで、小学校は1校目ですか。

赤間所長

一番最後です。

赤間委員

最後ですか。多分、ずいぶん栄養士の方も慣れたという感じで、子供たちに非常に分かりやすく説明をされていたかなということで、とてもいい活動とお見受けをしました。

やはり、小学生と中学生と幼稚園と、対象が変わるとそれぞれ工夫をされているんだろうということはあるんですけど、広報に載っていたのは多分中学校の写真ですね。小学校はやはり子供たちがいかに朝食というものが大事かという、学校活動とかいろいろな活動をする上でいかに朝ごはんというのが大事かというのをしっかり説明をされていて、子供たちも非常によく理解をしていたということはとてもいい授業だったかというふうに感じております。

五小に関しては何か特別支援を予定されていなかったようなんですが、栄養士の先生のご配慮で特別支援学級のほうもきちんと授業、指導をいただいたということで、そこら辺もどんどんどんいろいろなことを栄養士の方から直接聞くということで、子供たち、見ていましたら、その日チンジャオロースだったんです、給食が。それで3年生と4年生だったんですが、ほとんど残食なし。ピーマンが入っているからどうなのかしらというところはあったんですが、栄養士の先生にも、それから後から赤間センター長にも伺ったら、かなり熱処理をするのでピーマン臭さがなくなるということで、子供たちが食べやすい状態になっていたんじゃないかということを知って、そういったところもぜひ、見ると分かるんですが、ご家庭の例えば保護者の方とか、そういう方にも是非発信をいただけるといいかなって感じました。

以上です。

瀬野尾委員

よろしいですか。

このアンケートって、毎年とか何年に一度とか取っているんでしたでしょうか。

赤間所長

これは今回初めてトライしまして、今後は継続して実施したいとは思いますが、マークシート形式は今回次長の配慮で取り入れたもので、もしかしたら次回以降は普通の紙ベースのものになってしまうかもしれません。

瀬野尾委員

これって、とてもいいと思いましたが、毎年じゃないにしても、1年おきでも調査していただきたいと思います。次長がいなくてもできるように準備をお願いします。

〔佐藤主査〕ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

〔佐藤主査〕それでは、続きまして生涯学習班をお願いします。

〔石川班長〕それでは資料の10ページお開きいただきたいと思います。

生涯学習班の行事のほうをまず報告させていただきたいと思います。

主な行事のみ抜粋して報告させていただきます。

7月4日水曜日、青少年健全育成松島町民会議、社会を明るくする運動合同研修会が文化観光交流館で開催されました。塩釜警察署の生活安全係長鎌田将さんから子供の見守りと犯罪被害の防止についてと題して講演をいただき、約100名の参加がありました。子供110番の家の役割や対応の仕方について改めて理解することができたなどの感想が書かれています。

続きまして、7月6日金曜日、サッカー女子モンゴル19歳以下、16歳以下のサッカーモンゴル代表の選手団が2年ぶりに松島町役場を表見訪問いたしました。選手団は今年の10月に開催されるアジア女子先発選手権予選会の評価のため、松島フットボールセンターでの合宿を行ってまいりました。

引き続き、生涯学習班行事予定のほうをご説明させていただきたいと思います。

本日資料として別に出させております「未来への道 1000km縦断リレー」、こちらのほうが松島町を通過し、7月29日にゴール式、30日に出発式が行われます。30日は、2枚目にございますとおり、アテネオリンピック100メートル背泳ぎ銅メダリストの森田さん、また車いすバスケットボール選手、シドニーパラリンピックに出場しました根本さん、こちらも一緒にふれあいランニングという形で走られる予定でございます。また、合わせて当日は式典前から松島海岸駅まで交通規制が行われますので、ご了承をお願いしたいと思います。

続きまして、8月2日から3日の木、金曜日でございます。松島防災キャンプが、今年度は品井沼農村環境改善センターを会場に開催されます。現在25名の申込者がいるところでございます。これまでは地震被害、津波被害を想定しておりましたが、今年度は豪雨被害を想定したプログラムで実施を予定しているところでございます。

続きまして、8月17、18日、こちらは金、土でございます。平成30年度国民体育大会東北ブロック大会兼第45回東北総合体育大会、通称ミニ国体のサッカー競技が松島運動公園において各日2試合ずつ開催される予定となっております。

生涯学習班の行事報告予定につきましては、以上のとおりでございます。

〔佐藤主査〕それでは、生涯学習班の報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

（質疑）

佐藤委員

ちょっと2つお願いします。

一つは、行事報告の中にありましたが、7月6日モンゴル代表団が2年ぶりということだったようですが、何か交流でもしているのでしょうか、これ。これが1点と、8月2日、3日の、豪雨被害ということで、昨年度は石田沢だったというふうに思いますけれども、品井沼農村環境改善センターになったというのはどうしてか、そこのところをちょっと。なぜ品井沼なのかなっていうのを本当は聞きたかったんですが、ただ豪雨被害という想定だということによってそのようになったのかというふうに思ったんですけども、2点ちょっとお願いします。

石川班長

まず、モンゴルの件につきましては、モンゴルの代表チームの監督が宮城県出身だということがありまして、宮城県のサッカー協会を通じまして、松島を会場に合宿を行いたいという経緯がございまして、表敬訪問が行われているということでございます。

次に、防災キャンプにつきましては、毎年いろいろとテーマを設けてやっている中で、おとしは陽徳院協にある松島防災センターで実施をしまして、年々場所を変えていっている経緯がございます。

また、これまで第五小学校の参加者が少なかったというところがありまして、じゃあちょっと会場を変えてみようかという話もありつつ、毎年津波や地震被害をうたって、そのほかにもいろいろと考えられる自然災害はあるだろうというところも踏まえまして、8.5豪雨の際吉田川が決壊したというところも経緯もございまして、今回は、たまたま先に企画がスタートして、西日本の豪雨被害があったというようなところもございました。

以上でございます。

佐藤委員 それで、昨年確かに五小少なかったですね。

石川班長 五小はゼロでした。

佐藤委員 今年度は。

石川班長 今年度は若干参加者がございまして、申しわけありません、ちょっと記憶が。5名程度だったと思います。

佐藤委員 でも、参加はあるんだ。ありがとうございます。

〔佐藤主査〕ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

〔佐藤主査〕続きまして中央公民館・文化観光交流館・勤労青少年ホーム、よろしくお願ひします。

〔佐藤館長〕それでは、7月8日に開催されました磯崎地区の敬老会でございますが、何で敬老会が教育委員会のこの行事に乗っておるかとお申しますと、これは磯崎分館の行事でございまして、公民館と切っても切れない行事でございます。そういった意味もありまして、教育長先生とか私にもご案内状がまいりましてお邪魔したということなんです、内容的には敬老会に該当する方を白萩避難所にお呼びしまして、15演目ぐらいの演目が用意されておりまして、それを見ていただきながら、見たり自分も歌ったりしながら2時間半ほど過ごしていただいた、昼食もしながら2時間ほど過ごしていただくというような行事なんでございますが、今回はハワイアンとか、それから復興支援の事業で来ていただきましたカルメン、そういったものもありまして、私も初めて見たんですけども、皆さんもびっくりしておったようなんですけれども、そういった演目もございました。

それから、元の教育長でございます佐藤成之先生が今松島語り部の会というのを土曜日、日曜日、元のどんじき茶屋のところでボランティアでされておるんですが、この敬老会の中にも飛び入りでお入りになられまして、磯崎地区の歴史について、面白くわかりやすくお話をいただきました。

それで、その語り部の会は、今度の文化祭のほうにも出席をさせていただきということで、もう申し込みをいただいております、カラオケとか今まだ多い状況なんです、それだけではないというように、新しい演目として一石を投じてもらえたらと思っております。

それから、お手元に今ちょっと資料をお渡ししておりますが、先生たちの分は和綴じされているものですが、歴史を学ぼうの上級編です。これの2回目が行われております。第1回目は土器を作りましょうということで、粘土を練りまして、縄文のデザインされたひもをそれにぺたぺたと回したり貼ったりしながら土器を作っております。

これは2回目ということで、これは2時間半とか3時間の内容ですのでちょっとタイトルだけ読ませていただきますが、まず古文書ってどんなものなの。それから、なぜ古文書を整理するのか。次のページに行きまして、どうやって整理をするのか。古文書目録の作成方法。それから、その4ページに行きまして、崩し字を学ぶには。それから参考文献といった内容なんです、その次のページから、パソコンに入っているのをちょっと映しながら説明したのがその次のページからずっと続いております。最後のほうに、私もちょっとわからなかったんですが、崩し字を読み込ませるアプリがあるんです。後ろのほうのページなんですけれども、そのアプリの紹介もされていまして、この後自分でも読みたい方にはいいお知らせになったんじゃないかと思っております。

それで、もう一つお知らせしたかったのは、先生たちには和綴じされた資料をお渡ししております。これはうちの阿部礼子さんが作ってくれたものなんです。何でこれを作ったかという、この資料ってこの厚さで、4回ですから4倍になるわけです。それを取っておくのにどうやって取っておくんだろうって言っていたんです。ファイルするのか、それとも男の人たちだとそのまま袋に入れてそのままだったりするのかっていうふうなところから、一生懸命学習に来て、この資料ってお金を出しても多分もらえない、買えない資料だと思うんです。そのために、教室が終わってからこの和綴じの教室をやったらいいんじゃないかという案が出たわけです。例えば上級、中級、初級、その方たちにも声をかける、一般の方にももちろん公募をかけるんですが、こういった資料の和綴じとか、それから御朱印帳も作成できますので、講師の先生が岩切にいらっしゃるそうなので、連絡とっていただいて、歴史を学ぼうが全部終わった時点で一回教室を開いてみようかという予定を立てているところです。

それから、行事予定なんです、月日が入らないで、長松苑まつりの実行委員会打ち合わせ会議というふうになっておるんですが、今回もまた9月15日予定で長松苑まつりが開催されます。これ、毎回長谷萬商店のほうか

ら来る方が違ったりしておるんです。社長が来たり副社長が来たりしておるんですが、今年は町内会、長谷萬商店街の町内会のほうから人数を募って、どうやら十数名ほど松島に来町される予定です。そういったこともありまして、今打ち合わせ会議で何日にするか検討しておりましたので、検討の内容とか、ざっくり後ほどお知らせしたいと思っておりました。

8月25日ですが、これも恒例なんですけれども、夏休みの親子で作る工作教室です。今回はちょっと金額を張りまして、2,000円ほどの原材料費としまして、ちょっと大きめの本立てにもなるコーナーラックを予定しておりました。このぐらい大きいやつなんです。商工組合の皆さんと、会長さん自ら来てくれるそうでございますので、多くの子供たちが来てくれれば良いと思っております。

以上でございます。

〔佐藤主査〕 それでは、中央公民館等の報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか

(質疑)

瀬野尾委員

すみません、長松園まつりのお話に合ったハセマン……何でしたっけ。

佐藤館長

長谷萬、長谷川萬治さんという方が創業されました長谷川萬治商店さんです。

瀬野尾委員

松島にあるの。

佐藤館長

松島にはないです。東京にございまして、その長谷萬商店のある地域から分社した神社を含めて、長松園周辺の地域を町に寄附を受けたんです。それで、政教分離ということで、役場のほうでは直接手はかけられないと、そういうことで、根廻地区の方々に実行委員会を組織していただいています、そちらのほうに補助金を落とすという形と、それから丸投げはもろんできませんので、私たちがバックアップでお手伝いをするという形になっています。

いつもだと、社長1人とか副社長と奥さんと子供とか、1名とか2、3名なんです。ところが今年はどういう事情か分からないんですけども、お参りするのに町内会の人たちも募ったっていう連絡が来まして、少し大人数で来る予定です。

瀬野尾委員

これって日付はまだ分からないんですか。

佐藤館長

長松園まつりは9月15日なのですが、この打合せはまだちょっと未定でございます。

瀬野尾委員

9月15日がまつりの日ですね。ありがとうございます。

赤間委員

どのようなお仕事をされている会社なのですか。

佐藤館長

長谷川萬治商店は、木材関係ではなかったですか。（「長者番付にも載っていたよ」の声あり）

〔佐藤主査〕 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

### (3) 教育長報告

〔佐藤主査〕 それでは、続きまして(3)教育長報告について、教育長お願いします。

〔内海教育長〕 では、私の方から。

資料をお渡ししておいたのですが、これありますでしょうか。別綴じなんです。ちょっと綴じ方おかしかったかな。

実は、この私の教育長報告については具体的なものは今回ありません。ただ、この資料については今度の、先ほど大宮司班長が言ったように、8月6日の教育総合会議のときまで考えていただくための資料ということで、3枚つけておかせていただきました。

簡単に説明させていただきますと、まず1枚目は、小学校では年間35時間のやつをこういうふうな形でしていきますということになっております。小学校で英検3級から5級、これは中学校、高校まで行くんですが、そのような、左側、A-1って書いてあるんですけども、そういうような資格を取るくらいまで頑張っほしいという、これは文科省の、一番上に書いてある抜本的強化のイメージと。つまり文科省が、言葉は悪いんですが、ぎりぎりという感じで英語の習熟を図っていきたいということになります。中学校においては、基本的な内容は変わらないんですが、語彙数が非常に多くなってきております。右側の1,600から1,800字程度ということで、随分、1,200から1,600だから400から600程度語彙が増えていくということで、こういう形で、そしてコミュニケーション、対話的な活動を重視するということなので、このようなバックボーンがあります。

それで、2枚目をごらんください。

これは次長が作成してくれた地域向けの行政懇談会っていうところを出した資料でございます。

30年と31年度は、これはもうすでに教育委員さんおわかりだと思うんですけども、移行期ということで、3、4年生は15時間、5、6年生は50時間。それから、完全実施になった32年度からは年間35時間、3、4年生です。

ですから、週に1回道徳と同じようにやっていくと、5、6年生においては年間70時間、週2回やるということになります。3、4年生については外国語に慣れ親しむということです。それから、5、6年生においてはコミュニケーションの基礎ということで、それプラス読むこと、書くことが入ってきます。

右側に、今松島町はブライアン先生、それからマーティン先生、そして県非常勤講師、県からいただいた講師、つまり瀬野尾先生がやっていただいている、小さい町なんですけれども3人抱えているというのは大変ありがたいと。

この3人と、あと学校の先生で、先ほど最初の前にも、1ページにお示した課題を克服していくために、さらに、3枚目ご覧ください。これはいつかどこで保護者に出してみたいと思って私が作ったものなんです、読みやすく考えたんですが、やはり文字が多くなってちょっと失敗したと思っております。ただ、3番目ご覧ください。今後どうやって英語を伸ばしていくのかということでいろいろ策を考えております。もちろん学校の授業の充実は大切なことです。それを外してまで別なことをやるというつもりはございませんが、やれるとするならば夏休み英語シャワーキャンプ、つまり英語漬けキャンプ、3泊4日、あるいは2泊4日。それから、学び支援教室や放課後子供教室とコラボした、放課後に英語をします。これもちょっと協議しないといけないんですが、英語の教室を持つと。それから、産業観光課で今なさっている子供英語ガイド、これを、英語シャワーキャンプを受けた子はここに行ってやってくださいみたいな運動ができればいいのかと思っております。

それから、4番目として、さらに御三人のブライアン、マーティン、瀬野尾先生のほかに、いろいろなグルーピングになったときにサポートしていただける、英語が喋れるボランティアを募集していきたいというのも頭に入っております。それから、いずれマーティン、ブライアン、瀬野尾先生が、これちょっといなくなりましたらという意味で言わせてもらうと、先生方ひとりひとりの力量アップもしていかなければならないので、研修を積極的に受け入れていかなくちゃならないだろうし、場合によっては英語学習の指定校も受け入れながら小中連携を図っていかなければならないんだろうというのも考えております。

1枚目、2枚目、3枚目をもとにしながら、8月6日、たくさんご意見をいただければいいのかと。そうすると、本来ならば総合教育会議は町長側から出てくるところなんです、私たち教育委員会がやっていることも十分理解できるし、こんなことをやっていくんだというのを間接的に町長も理解していただけるんじゃないかと思っております。

今日はこれについてどうのこうのというより、当日までいろいろなご質問とかご意見とかをお考えになっていただいて、当日を迎えていただければと思っております。

以上でございます。

〔佐藤主査〕ありがとうございました。

それでは、教育長報告についてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員

今、教育長先生から総合教育会議のテーマと絡めて外国語教育についての今後のあり方というか、見直し等をお話いただきまして、これについて先に、もうひとつそれとは別に、それはそれで話したいんですが、夏休みのサマースクールのことについてひとつ考えていく必要があるかということもありますので、この件で一つ発言したいんですが。

小学校と今中学校、やっていますけれども、小学校はもう定着してきました、形態はそれぞれ違いますけれども、非常にいい取り組みをしていると思います。五小に私2日間行っているんですけれども、本当に集中してそこで学習する姿勢はすばらしいと思いました。

それで、昨日、一昨日と中学校へ行きましたけれども、中3生が本当は多く来てほしいと願っていたんですが、一昨日は1人で昨日は2人でした。それで、このことをどうとらえたらいいだろうと。家でしっかり勉強しているんじゃないかとか、それから我々サマースクール担当している教員同士では、もうちょっと学校の誘い方とかそういうことも工夫があっても良かったんじゃないだろうかという話も出ていました。

一番多いのは、1年生、2年生、2年生が一番多かったかもしれません。1年生が理科室という、広い机を囲む形だったので、一番賑やかな形でスタートしましたが、小学校で学び支援を経験していることもあって、質問が一番1年生から出ます。我々指導者に、手を挙げて、先生このところはどうしたらとか、それから質問がないからこっちが何か自分で資料なんかを読んでいたりすると、上手に使って、先生、僕が理科の勉強をしたことを確認したいので問題を出してくれませんかとか、結構積極的に活用する姿勢が見えまして、2年生は黙々と自分の勉強をしていましたので、1、2年生はととても参加率も高いんですが、3年生はどうしたことかという印象

を受けました。

ある先生に聞きましたら、どうも塾へもほとんど行っていないようですと。そして、知り合いの子供に、中3が来ないっていうことは家で勉強をしているということかと言ったら、僕が考えるに、おそらくみんなで集まって遊びに出かけていると思うと。どこらへんで遊ぶのって、松島は遊び場所ないでしょうって言ったら、近場の利府とかそこら辺に出かけているんじゃないかということでした。だから、そうかと、ちょっとそこら辺はもう家庭を含めた意識ですので、こちらとしてはちょっと残念だと思うしかないですが。

もう一つは、部活も中3生が終わったのでもう勉強に切り替えられるよねって言ったら、ある部活は1、2年の部員数が足りないのでは中3生にも出てきて練習に加われと言われていて、そういう話がありましたので、悪いけどあなたたちの先生はあなたたちを、受験生をどう考えているんですかって言ったんですけども、でも出て来いって言われるから行こうと思っているっていいので、これ以上私は知らないと思ったんですが、そういう状況で、非常に悩ましく思っております。これが今までサマースクールに関わった、まだ半分ですけども、状態です。

英語学習についてお話したいと思いますが、実は4年生の、この間、町教研ですか、4年生をクラスで、中学校の英語教師が指導したその後についてまだどなたからも感想を聞いていなかった、教育長からお話を聞いたんですが、どうでしたって英語の先生に直接聞きましたら、会話が少ないうじゃないかと、小学校の先生方からは不満が多く寄せられましたと。でも、自分としてはあまり会話、会話会話で行くことは子供をパニック状態に落とすというように自分は指導を受けているので、あえてあまり会話の時間はとらなかったんだっていう話をしていました。

あとは小学校、どこの部分をやりましたかって言いましたら、レッツトライの2なんです。レッツトライの2というのは、教科書は4年生にそれが配られているんですが、実際の扱いは、レッツトライの2はやらないんです、4年生は、レッツトライ1でやっているんです。ですから、それは通常の進路からは離れているんだけど、そのことを先生は把握してそういうカリキュラムを組んだんですかって言ったら、いやまったくそういうことは考えないでやりましたと。このあたりだろうということで。ハウズウェザーイブイットで天気だけとかかく表現できればいいという形でやりましたっていうお話だったので、今移行期間なので、実際の学校は3年と4年がほぼ同じ内容で進めているんですと。

あと、小学校の先生方からは、私だったらもっとこうするっていうような積極的な発言が多かったようです。こうするっていうのはもっとアクティブな形でやるというような話が寄せられましたっていうことでしたので、これをきっかけに、小中ともう少し話し合った方がいいのかなって。

今の継続の話は、先ほど幼稚園と小学校の継続の話も教育長室でお話出たんですが、サマースクールの中で、例えば分数の計算をしているときに、小学校は分数足す分数、掛け算、割り算する中で、最終的な回答を帯分数に直させて答えを出しなさいっていうんです。ところが、中学校は仮分数のまま、約分をすればもう帯分数には直さないんです。そういうところを、小学生から見ると中学校へ行って切り替える、ローマ字もそうなんですけれども、ローマ字に関しては中学の鈴木先生ももうヘボン式でやってほしいと。マーティンさんもブライアンさんもそうだよってということで、小学校の先生にはそのことをお伝えしているんですけども、数学のほうでもそういうところの共通理解が必要なんだなっていうことを、サマースクールを通して感じました。いわゆる小中の一貫性ということを見ますと。

それから、今後の英語強化の取り組みとしまして、この間7月20日に行政説明、文科省の方が、教科だけでなく、働き方改革のかなり詳細な見直しを含めた行政説明があったんですが、担任の先生が、私の今までの感覚で考えますと、今後英語を、教材研究をして事業をやっていくというのは相当な負担じゃないかと。例えば、会話力があっても、それを日々の活動、週2回の時間を有効に使うのはかなりきついただろうって感じます。ですから、今後町としてもし力を入れるのであれば、常勤の形でやはり専科をとっていくという形で、あとALTとの連携は非常に有効ですので。そこへ担任が積極的に自分も様子を見たいっていうのは、それはさっきのグループ化したときに、グループに入って一緒に子供たちとやってほしいというときには有効に働くとお思いますので、何かそこは専科で行ったほうがいいんじゃないかって感じております。

以上です。今までのところで。

内海教育長  
瀬野尾委員  
内海教育長

もしよろしければ、総合教育会議の中でその専科の話も。そうすると……。それは、でも県から来るんでしょうか。

県から来るんですが、それが可能かどうかは別なんでしょうけども、そういう町の惨状というか、実情を鑑みて、あと私が県に専科ほしいんですよってというような形で、加配として専科という話もしたいと思いますので、公で出していただくと。ここだって公なんですけど、今聞きましたので頭には入りましたけれども、総合教育会議で、ぜひ。いろいろなどうか質問があるかと思うんですが、そのときにちょっと話をさせていただければありがたいと思います。

それから、サマースクールとかについてはあと次長、課長に聞きましたので、ちょっとあと実情とか、どういう形なのか調べてみたいと思います。

以上でございます。

〔佐藤主査〕 それでは、よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

## 5. 議事

〔佐藤主査〕 続きまして、5番議事に移ります。

議事は内海教育長の進行のもと行います。

それでは、よろしく申し上げます。

議案第1号 補正予算に係る主要事業について

〔内海教育長〕 それでは、議案第1号補正予算に係る主要事業についてを議題といたします。

事務局から提案理由の説明を求めます。お願いします。

〔三浦次長〕 議案第1号補正予算に係る主要事業について。

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成30年7月27日、松島町教育委員会教育長名でございます。

次の17ページをごらんください。

事業名が、豊かな心を育む研究指定校事業であります。これは、県より委託事業ということで、もともと文科省の予算なんですけど、それが県に下りてきて、県からの委託事業、10分の10の予算の事業でございます。

中身的には、県内で2校、指定、今年度はされております。一つは昨年度からの継続で大崎市の古川第一小学校、あと今年度新規ということで松島の第一小学校ということで指定がされました。指定された経緯につきましては、松島第一小学校が校内研究で、今年で3年次を迎える道徳の授業づくりということで取り組んでおりました。県のほうから町のほうに、ぜひ松島第一小学校、指定校を受けてくれないかという打診を受けました。それが3月になってからだということでしたので、申請が3月の、最終的には予算も含めて下旬に近くなったわけでございます。正式な決定通知が6月の、書類が届いたのは6月下旬ということでありまして、6月の定例議会等に間に合わなかったということで、できるだけ早く事業をスタートさせたいということで、8月の補正ということで上げさせていただくことにいたしました。

金額といたしましては、補正額、そのこの表のところにありますように、21万円ということで考えております。

事業内容のところにありますけれども、中身的には、大きく支出をする部分については2)、3)の事業内容でございます。教育講演会につきましては、別資料では今一応案ということで、議会を通ればその予算を使いましてその教育講演会を、大学の教授を招聘して行いたいと思っております。これは広く町民、保護者にもお知らせをしながらということで、事業の趣旨に則りながらやりたいというふうに思っています。

あとは、もう一つは公開研究会というもので、これが広く現代の教職員あるいは保護者に事業を公開すると。今のところ3つの事業公開を予定しております。それに伴っての研究費用の作成ということでの事業費の支出を考えているところでございます。

以上、ご審議よろしくお願いたします。

〔内海教育長〕 それでは質疑に入ります。質疑はございませんか。

(質疑)

瀬野尾委員

よろしいですか、3つの授業公開っていいかと、3回。

三浦次長

3コマということです。その1日の公開授業の中での3コマ、（「3クラスが行うということ」の声あり）そうです。（「低中高あたり」の声あり）その予定です。

瀬野尾委員

それからもう一つ、保護者にもこれはお知らせを出して参加を求めると。

三浦次長

県のほうの事業の要綱の中にも、保護者、地域にも発信をしていくということがございますの

で、講演会につきましても教員だけではなく地域の保護者の方にも案内をするということが条件の一つになっております。

瀬野尾委員

わかりました。

そうすると、この教育講演会もこの一環として行う。

三浦次長

議会の承認が得られれば、その予算を使いたいと思っています。

瀬野尾委員

そういうことですね、わかりました。

そうしますと、もう一つ、公開授業の後の授業研究会というのは行うんですか。

三浦次長

今のところ、まだ一次案内が、小学校のほうで今鋭意作成中でありますけれども、我々の考えといたしましては、公開研究会の当日に講演会が午後に行ったりしますが、そのような形ではなくて、結局授業の検討会、分科会を中心に。

あと仙台教育事務所の指導主事からも指導を受けながら進めているところでございますので、その指導助言等もいただきながら公開していくということでございます。

瀬野尾委員

わかりました。ありがとうございます。

内海教育長

付け加えますけれども、これ年に2回やっている自主公開の1本と数えますので、本当は11月1日にやるんですが、指定校の公開の指定日が決められていましたので、それを11月19日にしますということで、1日から移行したという形になります。

佐藤委員

では、2点。

ひとつは、この事業は指定校は1年なんですか。

三浦次長

一応単年度の指定ですが、来年度県から古川第一小学校のように継続をお願いしますという打診があるかどうかはちょっとまだ不確定でございます。

佐藤委員

じゃあ、ふたつ目です。事業内容の中で、道徳の実践と書いてあるわけですが、これ評価は当然授業の評価はするんだらうけれども、通信表にかかわるようなその辺の評価の在り方、その辺までは研究は進んでいるんでしょうか。

三浦次長

松島第一小学校の研究、これまでの研究の成果につきましては、いわゆる書くことという、子供の考えを書かせる指導というのを長く続けてきておりますので、公開としてはその子供の書く活動、あるいは書く活動を含めた話し合いの活動という、新しい学習指導要領に合わせた形になるかと思っております。

ただ、合わせてやはり評価の部分というのは非常に県内の教職員については関心の高いところでございますので、昨年度来松島では道徳教育推進教師を集めて、その評価についての検討を重ねて、今回の1学期の作成にも入っておりますので、もしそういう公開できるものが形となれば、併せてお示しを、研究企業等にはお示しをしたいというふうには思っております。

佐藤委員

もしかしたら、そういうところを期待してこの公開に参加するのではないかというふうに思われますけれども。（「そうですね」の声あり）

内海教育長

ありがとうございました。

それで、私ももう一つ、議長をしながら付け加えるんですけども、この公開する予定の赤堀先生は、教科化をするに当たって最前線で動かした人でございます。だから、いろいろな教科の件とか、この講演の中ではいっぱいお話が出てくるんじゃないかと思っております。

また、佐藤委員のお話のように、インターネットを見ていると、初めて通知表を今年もらって、道徳の評価が入っていたと、びっくりしたと保護者は言っておったような記事も載っていましたので、そういうことも話題の一つになるのかという気はいたします。

私のほうは補足です。

〔内海教育長〕他に質疑がなければ、質疑を終わりとしてよろしいですか。（「はい」の声あり）

それでは採決をいたします。賛成の委員は挙手願います。

（挙手全員）

採決の結果、主要事業については賛成全員で可決されました。

議事が終わりましたので、事務局にお返しします。

以上です。

〔佐藤主査〕ありがとうございました。

## 6. 協議

### (1) 平成30年8月定例会について

日程案：平成30年8月31日（金）午前10時00分 松島町役場3階 302会議室

〔佐藤主査〕続きまして、6番協議事項に移ります。

(1) 8月定例会について、日程案としましては8月31日金曜日10時から松島町役場3階302会議室となっております。この日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）よろしく申し上げます。

## 7. その他

### (1) 松島第二幼稚園視察について

日程案：平成30年8月31日（金）午前8時45分 松島町役場集合

〔佐藤主査〕続きまして、7番その他に移ります。

#### (1) 松島町第二幼稚園視察について。

こちらのほう、定例会の前に予定していますので、8時45分まで役場のほうに集合していただいて現地のほうに行きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

### (2) 総合教育会議について

日程：平成30年8月6日（月） 松島町役場2階 201会議室

議題：松島町における英語教育の取組みについて

〔佐藤主査〕(2) 総合教育会議について。

「松島町における英語教育の取組みについて」を議題として、8月6日月曜日、10時から役場201会議室で開催されますので、ご出席をお願いします。

### (3) 松島発トーマス・エジソン祭りについて

日程：平成30年7月28日（土）午前10時 アトレ・るHall（松島町文化観光交流館）

〔佐藤主査〕続きまして(3) トーマス・エジソン祭りについて。

明日、7月28日午前10時からアトレ・るHallで行います。委員の皆さんにはチラシのほうでお知らせしております。ダイキンさん、東北電力さん、石巻工業高等学校さんに出展していただきまして開催されますので、ぜひご来場ください。

### (4) 松島町教育講演会について

日程：平成30年8月21日（火）午後1時30分 アトレ・るHall（松島町文化観光交流館）

演題：「道徳科の特質を生かした授業改善と評価」

講師：帝京大学教職大学院教授 赤堀 博行 氏

〔佐藤主査〕続きまして、(4) 松島町教育講演会について。

8月21日火曜日、午後1時30分からアトレ・るHallで、帝京大学教職大学院の赤堀先生をお招きして、「道徳科の特質を生かした授業改善と評価」についてご講演いただきますので、こちらのほうもご来場いただきたいと思っております。

〔佐藤主事〕最後に、全体を通しましてご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

## 7. 閉会 午前11時14分

〔佐藤主査〕それでは、松島町教育委員会平成30年7月定例会を閉会したいと思います。

閉会の挨拶を瀬野尾教育長職務代理者よりお願いします。

〔瀬野尾委員〕暑い中ですが、この後も夜、初めて教育委員と、それから学校経営にかかわる方々との懇親会があります。そういうところでいろいろと語り合っていくのが第一歩かと思っております。今日のこの会議を引き継いで、また夜の交流を深めるところにつないでいければと思います。

今日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 佐藤 弘也

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 30 年 8 月 31 日

委 員

委 員